

赤生津地区 地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト版



【赤生津地区の農用地等面積】 359.9 ha

うち 【田】 296.1 ha 【畑】 62.7 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 312.9 ha)

・今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 28.3 ha

・赤生津地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 94.1 ha

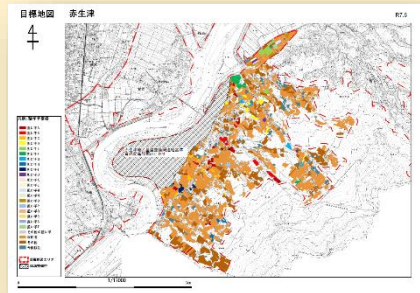
・主な生産品目： 水稲、肉用牛（肥育・繁殖）

(令和 8 年 2 月 27 日現在)

地域農業の課題

1. 基盤整備の未実施(第1区、第2区、第5区、赤生津中央地域活性化組合)
 - ― 小さい田が多く、形が不揃い・石や湿地がある
 - ― 小区画圃場と狭い農道
2. 大型機械による効率化困難(第1区、第2区、赤生津中央地域活性化組合)
 - ― 区画が小さく、農道・水路も狭い
 - ― 均一な配水が難しい(水路が狭小・延長も長い)
3. 農業者の高齢化・後継者不足(第1区、第2区、第5区、赤生津中央地域活性化組合、赤生津基盤整備促進委員会)
 - ― 農用地の維持管理が困難
 - ― 多くの農家が離農見込
 - ― 耕作放棄地の増加懸念
4. 除草など作業負担の増加(第2区)
5. 有害鳥獣(イノシシ・シカ等)による農作物被害増加(第2区、赤生津中央地域活性化組合)
6. 水稲作付実施率の低下と草刈負担増(第5区)
7. 住民・農業者の減少による地域力の弱体化

赤生津地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事はあるですか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょうか。

地域農業の方向性

1. 継続的な農地利用・保全

- 中山間地域直接支払制度・多面的機能支払交付金の活用(第1区、第2区、第5区、赤生津中央地域活性化組合)
- 担い手への集積・集約、日本型直接支払制度で営農が難しい農地の保全(全域)

2. 基盤整備・大区画化(赤生津中央地域活性化組合、赤生津基盤整備促進委員会)

- 農道・水路・区画拡大、暗渠排水等の効率化事業
- 基盤整備事業着工(R8年度予定)
- 土地利用調整組織設立→農業生産法人への集積率85%目標

3. 経営多角化とスマート農業導入(赤生津基盤整備促進委員会等)

- 水稻・畜産(肥育)複合経営
- 高収益作物の導入
- コスト削減・省力化(スマート農業)

4. 法人経営体確立と地域への定住者・後継者創出

- オペレーター型農業生産法人設立
- 農業経営の安定と生活環境・定住促進

5. 農地中間管理機構の活用

- 貸借時の機構活用
- 経営意欲・貸付意向の調整と面的集積

6. 鳥獣害対策・スマート農業・施設等(選択対応)

- 電気柵、防護柵、免許取得者増、情報共有
- 保全管理への日本型直接支払などの活用
- 共同作業施設・格納庫等の整備
- JA・県等の技術指導・人材育成

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記QRコードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室(Tel 0197-34-2371)

